

2021年度 北海道 NPO サポートセンター 活動報告

1. ビジョン・ミッション

ビジョン	北海道 NPO サポートセンターは、市民が主体的に社会課題に取り組み、新しい価値を創造することで、誰もが排除されず・多様性が保障された社会を目指します。
ミッション	北海道 NPO サポートセンターは、「社会課題解決」「価値創造」「市民参加」が実現されるように、NPO・市民・企業などをサポートします。

2. 各事業の実績一覧

■思いを形にする

コンサルティング機能

No	事業名		事業内容	実績
	メイン項目	サブ項目		
1	相談事業	1) 立ち上げ・創業相談	◇立ち上げに関する相談対応。	立ち上げ相談：9件
		2) 運営相談	1) 法人運営、会計、経営等の相談対応。 2) 事業承継の相談対応。 3) コロナの影響に対する相談対応。	1) 法人運営相談：39件、他20件 →総会の運営や助成金、会計：役員報酬等についての相談が多い 2) 事業承継手続き相談：1件 3) 相談：51件 →全道の中間支援組織と共同実施
2	ソーシャル活動起業・交流の場づくり	1) NPOの学校事業	◇NPO・ソーシャル活動に関心のある市民のための学校（講座等）を実施。 ※TOPIC1	1) 6月～11月に「よのなか学園/NPO実務コース」（計5回）を開催 ＜参加状況＞延べ27名 2) 1月～3月に「よのなか学園/新結合学科」（計5回）を実施 延べ19名

TOPIC1 NPO 学校プロジェクト「よのなか学園」の開催

<内容>

第一線で活躍してきたリーダーによる知識継承、最先端の技術獲得のための体系化された研修プログラムを用意することにより、NPO スタッフの能力開発を推進するとともに、新しい NPO 人材の確保を目的とした NPO の学校プロジェクトを実施しました。



◇実務コース

6/26 『ONLINE 開校式 2021』（12名参加）

7/28 第1回『NPO スタッフのキャリアデザインを考える』

8/24 第2回『こどもソーシャルワークの現場から』

9/28 第3回『自分を大切にしながら思いを伝える技術』

10/27 第4回『仲間を増やす物語の力』

11/24 第5回『小さな奇跡のおこしかた』

講師：田邊 健史

講師：幸重 忠孝

講師：浅井 美絵

講師：会沢 裕貴

講師：竹之下 倫志

◇新結合学科

1/15 第1回『助け合いは誰が求めているのか』

講師：澤出 桃姫子

1/21 第2回『恣意的臨場性の是非』

講師：若菜 彩人

2/4 第3回『デジタルで加速するプロジェクトを産み続ける真価を探る』

講師：種市 慎太郎

2/18 第4回『弱いつながりへ踏み出す一歩目の＜価値と危険とハードル＞と』

講師：嶋本 勇介

3/12 第5回『コミュニティ難民 / 異質な再編集 / 新結合の誕生』

講師：アサダ ワタル

<今後>

- ・来年度以降もコロナ禍は続くと考えられるので、対面開催ではなく zoom による開催を主とします。
- ・想定よりも参加者数が伸びなかったため、事前の広報活動に力を入れるなど、戦略を見直していきます。

■思いを支える

サポート機能

No	事業名		事業内容	実績
	メイン項目	サブ項目		
1	サポート事業	1) NPO 法人バックオフィス支援	①会計サポート ※TOPIC 2 ②事務局代行サポート ③広報サポート (HP 作成等)	①26 団体 新規団体 / 2 件 ②2 団体 ③HP 作成 : 2 件
		2) 共同事務所運営事業	①連携団体等の事務局運営 ②共同オフィス運営	①「NPO 推進北海道会議」・「北海道 NPO ファンド」・「北海道 NPO バンク / NPO バンク事業組合」の事務局機能を担う。 ②星園に部屋を借り、複数の団体が共同で利用するオフィスを運営。 入居数 : 3 団体
		3) 評価	組織診断・組織評価/事業評価の普及促進	組織評価は今年度実績なし 事業評価は北海道 NPO ファンドの助成事業の一環として実施
2	人材育成事業	1) 若手スタッフ研修会		・NPO の学校プロジェクト (よのなか学園) の一環として実施
		2) テーマ別研修会	①会計定期学習会 ※TOPIC2 ②リーダー懇談会	①会計セミナー : TOPIC 2 に記載 ②実施なし
3	資金調達事業	1) NPO への助成	北海道 NPO ファンドと連携	北海道 NPO ファンドして休眠預金事業、第 2 期まちのプロジェクト基金、いぶり基金、越智/市民活動支援基金、コロナ対策助成を実施
		2) NPO への融資	北海道 NPO バンクと連携	例年通り連携
		3) 新型コロナウイルス感染症対策活動団体支援協議会		TOPIC 3 に記載

TOPIC 2 サポート事業として「会計サポート」の強化

<内容>

・会計サポートとして、会計ソフトの導入及び入力代行に加えて、助成金会計の報告様式作成や決算時のみの会計データチェックなど、サポートメニューを増やして実施しました。

・昨年度の会計学習会を引き継ぎ、有料の会計セミナーを企画し、コロナ禍であることから対面ではなく、オンラインで実施しました。

日にち	内容	参加者数
11月12日	第1回「会計オンラインセミナー 会計実務編」	2団体1個人 計4名
11月18日	「会計オンラインセミナー特別編」	3団体 計3名
1月21日	第2回「会計オンラインセミナー 会計実務編」	4団体1個人 計6名
2月16日	第3回「給与計算編」	3団体 計3名

<今後>

- ・HP等でわかりやすいサポートメニューと料金表を提示し、さらなるサポート先開拓に努めます。
- ・定期的に同様のオンラインセミナーを開催する予定です

TOPIC 3 新型コロナウイルス感染症対策活動団体支援協議会について

<内容>

2020年に、札幌市、札幌チャレンジド、北海道NPOファンド、札幌市民活動サポートセンターとともに協議会を構成し、初年度はコロナ緊急助成の採択団体のサポートを行いました。そして、2年目である2021年度では、被サポート団体としてさぽーとほっと基金採択団体が加わり、引き続きサポート活動を行いました。具体的にはアンケート、インタビューを実施し、合計10団体の結果を当該協議会のHPに掲載しました。

<https://covid-19.npoproject.hokkaido.jp/>

<今後>

令和4年度も継続。昨年度までの業務に加えてさぽーとほっと基金見直しについても業務の範囲となる予定であり、行政との協働として、重要な事業と考えています。

■思いをつなげる

コーディネート機能

No	事業名		事業内容／当初計画	実績
	メイン項目	サブ項目		
1	市民とNPOをつなぐ事業	1) NPOへの就業支援	①求人・就職促進のための有料職業紹介事業	今年度は実績なし
		2) ボランティア促進	ボランティア参加する市民が増えるための取り組みを実施	NPO情報の編集ボランティア(3名)とともにイベントレポートや団体取材で会報誌に掲載する原稿を作成
2	行政とNPOをつなぐ事業	1) NPO基礎講座実施	NPO基礎講座を自治体と連携して実施	今年度は実績なし

		2) 協働の在り方検討	協働が促進されるための講座等 を検討	今年度は実績なし
3	企業・金融機関等と NPO をつなぐ事業	1) 企業へのコーディネート事業	企業と NPO をつなぐコーディネート事業のあり方を検討	・大学連携プロジェクトとして、クラウドファンด์研究事業を実施（2021 年度は準備のみ）。北海道労働金庫が協力。
		2) 金融機関向け NPO 説明会	NPO への理解を深める説明会の開催を検討	今年度は実績なし。
		3) 北海道ソーシャルビジネス支援ネットワークへの参画		ネットワークとして 8/24「ソーシャルビジネスセミナー in SAPPORO」を開催
4	地域と NPO をつなぐ事業	1) 自治会、商店街等との連携	地域課題に取り組む人材を増やす事業を検討	実績なし
5	NPO と NPO をつなぐ事業	1) NPO 同士の交流の場づくり	①読書会の実施（NPO 北海道推進会議主催）	『ドーナツ経済』、『民主主義とは』の読書会を実施。参加者：6 人
		2) NPO 界若手交流の場づくり	①シミサル（若手交流会）の実施	実績無し
		3) テーマ別ネットワーク構築	①石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク ②災害時の NPO ネットワークづくり	それぞれ事務局機能を担当
6	中間支援センター同士をつなぐ事業	1) 中間支援センター交流・研修会	道内各地の中間支援センターとの交流・研修会を年 1 回実施	10 月 29-30 日旭川で交流・研修会実施（事業承継をテーマとして開催）
7	市民と社会をつなぐ事業	1) 高齢者の社会活動促進	①アクティブシニア事業 ②生活支援コーディネーター養成研修（北海道高齢福祉課委託事業）※TOPIC 4	①アクティブシニア事業 NPO 法人北海道社会的事業所支援機構事業が実施する WAM 助成事業及び北海道高齢福祉課委託事業のアクティブシニア事業の事務局を一部実施 ②※TOPIC 4 に記載
		2) 道内避難者への支援	道内避難者心のケア事業・避難者への情報誌の発送、相談窓口等	情報誌からからの発送（全 4 号）、オンラインで交流会を開催

TOPIC 4 生活支援コーディネーター養成研修の実施

<内容>

全道の生活支援コーディネーター向けに、基礎編 1 回（2 日間の日程、札幌開催）、応用編 12 回（1 日の日程、12 振興局で開催（一部オンライン開催））を実施しました。

<今後>

・研修事業を通じて明らかになった課題等を取りまとめていきたいと思います。必要に応じて関係者へのインタビューやアンケート調査にも取り組んでいきます。

No	事業名		事業内容／当初計画	実績
	メイン項目	サブ項目		
1	市民向け講座・講演会		NPO・市民活動等に関する市民向けの講座・講演会を開催	実績なし
2	調査・研究・提言事業	1) 調査研究事業	①道内 NPO 法人の現況分析	河西研究室からの委託で全道 NPO へアンケートを送付
		2) 政策提言	ロビー活動等への取り組みを検討	困窮者支援団体と行政との橋渡しを実施
3	情報発信事業	1) NPO 情報の発行	毎月「北海道 NPO 情報」を発行し、会員等に送付	予定通り毎月発行。編集ボランティアの協力がある。
		2) HP・SNS を通じた情報発信	HP・FB・Twitter で情報を発信。また、HP のリニューアルを検討	HP のリニューアルは 2022 年度実施予定
4	社会実験事業	1) 研究会事業		NPO 推進北海道会議として検討中
		2) 休眠預金の検討	北海道 NPO ファンドが資金分配団体として実施	※TOPIC 5 に記載

TOPIC 5 休眠預金による事業の開始

・休眠預金の 2020 年度、2021 年度通常枠事業において、資金分配団体として NPO 法人北海道 NPO ファンドが採択されました。どちらも、NPO 法人北海道サポートセンターと生活協同組合コープさっぽろが連携団体として関わることとなりました。

<内容>

■2019 年度休眠預金事業（一般枠）

- (1) 運営協議会（一般社団法人北海道総合研究調査会（HIT）＆サボセンで構成）の運営
- (2) プログラムオフィサー業務

公募説明会の企画・運営／PO 研修への参加／／助成プログラムの策定／助成申請相談窓口
審査準備／採択団体向け事前研修の企画／契約に必要な各種必要書類の作成、など

■2020 年度休眠預金事業（コロナ緊急枠）

- (1) 運営協議会（北海道 NPO ファンド＆HIT で構成）の運営
- (2) プログラムオフィサー業務

■2020 年度休眠預金事業（一般枠）

・事業名：子ども若者を主体の持続可能な地域づくり～もう一度、地元の力でできることを探そう

- (1) 運営協議会（北海道 NPO ファンド＆コープさっぽろで構成）の運営
- (2) プログラムオフィサー業務

■2021 年度休眠預金事業（一般枠）

・事業名：地方における学習・能力向上機会の拡充による選択格差の解消～小中を通じた「なりたい自分」の選択視野を広げる地域教育

- (1) 運営協議会（北海道 NPO ファンド＆コープさっぽろで構成）の運営
- (2) プログラムオフィサー業務

3. その他活動・事業について

(1) 委員会等への出席

①審査委員・・・控除対象特定非営利活動法人審査委員会、ろうきん助成、全労済助成

②委員会等・・・子どもの貧困対策ネットワーク

(2) 会員数

目標：団体会員 200 団体、個人会員 100 人を目標

実績：2021 年度末 現在 166 団体（前年比+5）、個人 62 名（前年比+-0）

(3) 3/20 小林董信氏追悼企画を実施しました。

※2022/5/18 追悼メッセージをお送りいただいた方々に追悼文集をお送りしました。